

# 博士課程教育リーディングプログラム 平成27年度プログラム実施状況報告書

採択年度	平成24年度		
申請大学名	金沢大学	申請大学長名	山崎 光悦
申請類型	複合領域型（多文化共生社会）	プログラム責任者名	中村 慎一
整理番号	L01	プログラムコーディネーター名	鏡味 治也
プログラム名	文化資源マネージャー養成プログラム		

## <プログラム進捗状況概要>

### 1. プログラムの目的・大学の改革構想

本プログラムが取り組むのは、「多文化共生」をさらに一步進めた「多文化共用」という将来的課題である。文化の違いも人類全体で共有する資源として、その価値と有用性を評価する姿勢を涵養することがグローバル社会での喫緊の課題であり、「多文化共生」の理念を浸透させるために、実社会へのコミットメントを継続できるリーダーの要請とネットワーク形成も社会的課題である。金沢大学は「東アジアの知の拠点」として、また「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」として、今後世界の中心となるアジアを主眼に置いた人材育成及び教育研究機能の強化に努め、平成24年4月には「グローバル人材育成推進機構」、「先端科学・イノベーション推進機構」、「国際機構」を設置した。本プログラムは本学のグローバル人材育成のための中心的プログラムのひとつであり、国際的教育研究拠点形成の中核事業のひとつでもある。

### 2. プログラムの進捗状況

平成27年度は3期生6名がプログラムに参加、1期生は平成27年3月に修士の学位を取得し6名が3年次に進級した。平成27年度に実施した平成28年度選抜においては、留学生4人、日本人4人を受け入れ、1～3期まで定員充足に苦慮していた日本人学生への本プログラムの認知度が上がったと考えられる。

各学年において多国籍・多文化・他分野の学生チームが構築され、学内外で切磋琢磨し合う下地作りができた。平成27年度は1期生が主体となり、北京大学で開催された「国際ワークショップ」に参加し、問題設定、北京大学との交渉など課題解決型ワークショップの手法の応用など、文化資源マネージャーとして必要な資質を磨く取り組みを行った。国内外においてフィールドトリップを積極的に行い、これらの報告を、ニュースレターより発信している。このニュースレターは平成27年度末までに9号まで刊行した。